

第5回
全国特別支援学校
フットサル大会

公益財団法人 日本ライオンズ

全国大会 11月7日(土) in ヴィクトリーナ・ウインク体育館

（姫路市立中央体育館）姫路市西延末 90 番地

主催：公益財団法人 日本ライオンズ　　協賛：ライオンズクラブ国際財団（LCIF）

後援：スポーツ庁／全国特別支援学校長会／兵庫県／姫路市／兵庫県教育委員会
姫路市教育委員会／兵庫県特別支援教育諸学校長会

Lions Clubs International FOUNDATION

目次 Contents

01 | 選手宣誓 …… 2

02 | 本大会に参加する教師、生徒、関係者の基本的な約束 …… 2

03 | あいさつ・祝辞 …… 3-12

04 | 開催要項 …… 13

05 | 運営組織 …… 14

06 | 大会日程 …… 15

07 | 競技規則 …… 16

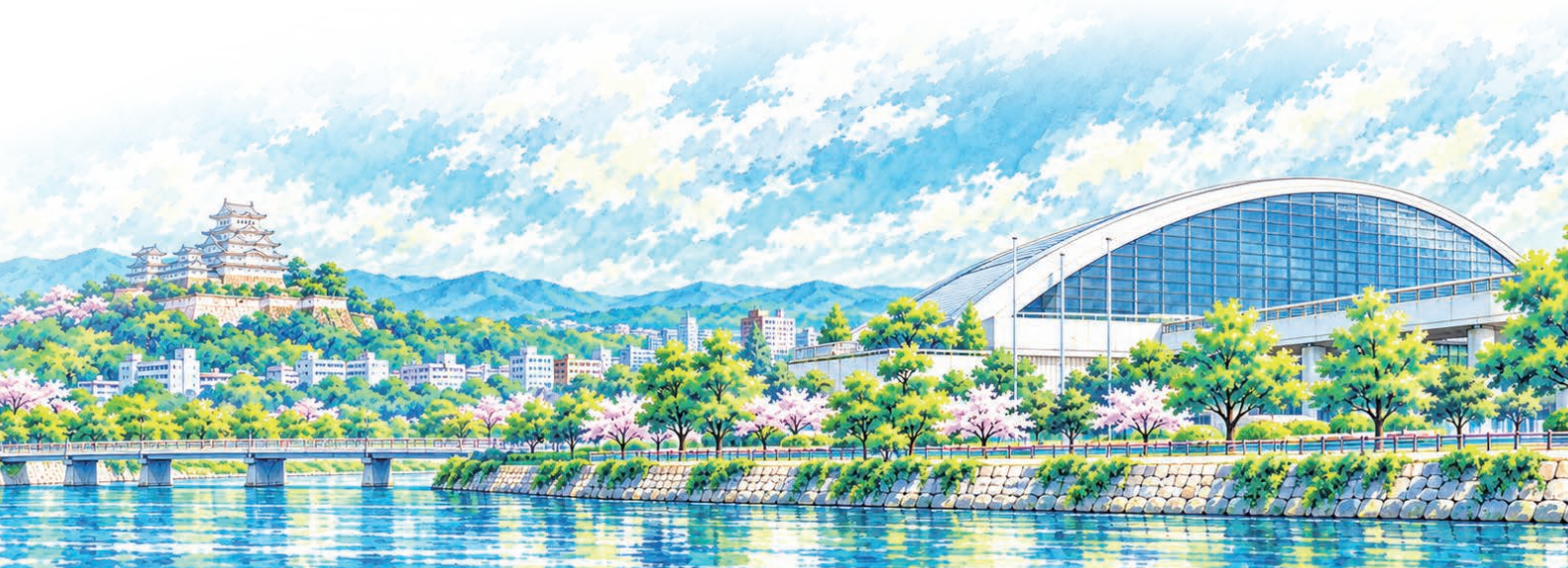
08 | 競技スケジュール …… 17-18

09 | 出場校紹介 …… 19-42

10 | 大会会場図 …… 43

11 | 第 6 回全国特別支援学校フットサル大会の開催告知 …… 44

12 | 第 5 回全国特別支援学校フットサル大会
各地区大会参加校一覧・集計 …… 45-47



選手宣誓 Player's Pledge

宣誓

私たち選手一同は、全国大会優勝を目標に、仲間と汗を流し、日々練習に取り組んできました。
その成果を発揮する舞台が、この全国大会です。
試合が始まれば、すべてが思い通りにいくとは限りません。
そんな時こそ、チームで声を掛け合い、仲間を鼓舞し、最後の１秒まで諦めず、全力でプレーします。
そして、全国大会を開催してくださるライオンズクラブの皆様、
私たちを支えて下さった先生方や家族への感謝の気持ちと、相手チーム・審判・そして
チームメイトへのリスペクトを忘れず、正々堂々と戦うことを、ここに誓います。

令和８年11月７日

兵庫県立西神戸高等特別支援学校　サッカー部主将　**幾島　直人**

本大会に参加する教師、生徒、関係者の基本的な約束

生徒の「主体的」・「対話的」・「深い学び」の場とします。

特別支援学校では、多くの生徒が、卒業後、実社会に出て就労することと、かつ各学校で教育指導の原則としている「主体的、対話的で深い学び」を踏まえて、本大会での監督・コーチの「指示・命令の言葉（〜〜せよ。〜〜するな。等）」や「威圧的な行動」（ベンチで立って、指差し等を行う。）は、生徒の主体的判断を尊重していない行動として慎んでください。

監督・コーチは、基本として、選手交代時以外はベンチに座り、状況を見守り、正確に把握して、穏やかな態度で、本来のコーチング（生徒の自主的・主体的な判断力・決定力・実行力を高めるよう工夫した言葉がけや取り組み）に基づく、生徒への温かな思いやりのある言葉遣いや行動を常に意識して行動するよう期待しています。

仲間、先生、相手、審判等にリスペクトrespectを示す場とします。

リスペクトとは、「尊敬すること。」「敬意を表すこと。」「価値を認めて心服すること。」です。
社会に出た場合、自分の周りにいる方々へのこのリスペクトの心根があれば、大抵のことは円滑に進めることができます。

したがって、本大会は、フットサルを通して、仲間、ご指導の先生、対戦相手、審判、大会関係者などに感謝してプレーをします。加えて、一人一人の生徒が自分自身の持っている力を全力を尽くすとともに、仲間と協力してゴールを目指し、ゴールを守る場とします。

特に、監督・コーチは、生徒の鏡として模範となるよう行動することを期待しています。

ごあいさつ

Message



公益財団法人 日本ライオンズ

理事長　小野寺　眞悟

第5回全国特別支援学校フットサル大会を姫路市において開催できますことを、主催者として大きな喜びと深い感謝の念を抱いております。本大会は、全国12地区で開催された予選に159校が参加し、その代表校が本舞台に集い、日頃の学習や生活で培った力を存分に発揮する場です。生徒の皆さんが仲間とともに努力を重ね、互いに学び合い、友情を育んできた姿は、私たちにとって未来への希望そのものです。

また、本大会では監督・コーチによる競技中の指示を禁止する特別なルールを設けています。これは、生徒自身が状況を判断し、仲間と協力し、困難を乗り越える力を育むためのものであり、卒業後の自立や地域での共生につながる大切な学びとなると確信しております。

大会開催にあたりご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げるとともに、参加される生徒の皆さんが心に残る素晴らしい大会となることを祈念し、挨拶といたします。

祝辞

Congratulatory Message



スポーツ庁長官

河合　純一

はじめに、令和８年熊本地震及び豪雨災害等によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

第５回全国特別支援学校フットサル大会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

本大会は、特別支援学校に通う生徒の皆様が、フットサルを通して、日々鍛錬してきた成果を発揮し、仲間とともに切磋琢磨する貴重な機会であり、社会性を養い共生社会の実現に向けた成長の場であると考えております。

本年は愛知・名古屋2026アジアパラ競技大会が開催され、パラスポーツへの関心がますます高まっております。このような中、本大会を契機として、特別支援学校の児童・生徒のスポーツ活動の機会が更に充実し、誰もが安心してスポーツに親しめる社会の実現に向けた取組が着実に進んでいくことを強く願っています。

結びに、本大会の開催にあたり御尽力いただいた公益財団法人日本ライオンズをはじめ、関係者の皆様に心より感謝の意を表しますとともに、本大会の御成功と選手の皆さまの御健闘を心より祈念いたします。

祝辞

Congratulatory Message



ライオンズクラブ国際協会

国際会長　マーク S. ライオン

公益財団法人日本ライオンズ関係各位
出場選手の皆様、学校関係者の皆様及びお集まりの皆様

第5回全国特別支援学校フットサル全国大会が兵庫県姫路市で開催されますことを、心よりお祝いを申し上げます。
このような素晴らしい人々と地域のためのイベントの開催をお祝いできることを、心から嬉しく思います。ライオンズクラブ会員の一人として、このような大きな行事としての奉仕事業を実現するには様々な関係者の努力が必要であると知っています。それはまさに、私たちの協会のモットーである「We Serve（われわれは奉仕する）」を体現しており、私たちの活動の積み重ねがもたらす影響力を示しています。
このような奉仕活動に根差すことで、あなたのクラブに、そして地域社会に確かな変化をもたらしています。あなたの活動は人々の暮らしを変え、多くの人に行動を起こすきっかけを与えています。その熱意と取り組みにより、この前向きな影響は今後もますます広がっていくことでしょう。
将来に向けて、あなたがクラブの仲間と協力しながら、ライオンズとしての本質である、人生を変える奉仕を引き続き実践されることを確信しております。あなたのようなリーダーのおかげで、私たちは奉仕に根差すことで実現できることを地域社会そして世界に示し続けていけるのです。

このフットサル全国大会のご成功と参加チームのご健闘を心からお祈り申し上げます。

友情と奉仕の心をもって

Mark S. Lyon

祝辞

Congratulatory Message



ライオンズクラブ国際財団

理事長　A.P.　シン

第5回全国特別支援学校フットサル全国大会にご参集の皆様

5回目となる公益財団法人日本ライオンズ主催全国特別支援学校フットサル全国大会が、ライオンズクラブ国際協会335複合地区のご支援の下、兵庫県姫路市で開催されますことを、心よりお祝いを申し上げます。

選手の皆さんは各地区での大会を勝ち抜き、今日この場に立つことを目指して日々頑張ってこられたことと思います。ぜひ自分の力を最大限に発揮して、悔いのないように試合に取り組み、試合の外では他校の選手とも交流し、この大会を満喫していただきたいと思います。

ライオンズクラブ国際財団は、ライオンズクラブの奉仕に力を与える財団として、この活動を支援できることを大変うれしく思います。私たちの財団は、ライオンズクラブが情熱をもって取り組む人道的活動に対し交付金を提供することを使命としていますが、このような活動ができるのも、多くのライオンズ会員そして市民の皆様が私たちの財団を信頼し、寄付を寄せてくださるからにほかなりません。

特別支援学校の皆さんが真剣にスポーツに取り組む機会を提供するこの素晴らしい活動を継続している公益財団法人日本ライオンズの運営ボランティアの皆様に心から敬意を表するとともに、この活動がさらに継続されるように心から祈念致します。

ともに奉仕を

A.P. Singh

祝辞

Congratulatory Message



衆議院議員

山田　基靖

第5回全国特別支援学校フットサル全国大会の開催、誠におめでとうございます。

日頃の厳しい練習を乗り越え、各地区の激戦を勝ち抜いてこの晴れの舞台へと進出された選手の皆さんに、心からの敬意を表します。

公益財団法人日本ライオンズが主催する本大会は、皆さんがフットサルを通して日々鍛錬してきた成果を発揮する最高のステージです。コートの上では、これまで共に汗を流してきた仲間を信じ、自校生徒間のチームワークをさらに深めてください。そして同時に、全国から集まった仲間たちとお互いの健闘をたたえ合い、他校生徒に敬意を持って接することを大切にしてください。こうした交流と経験こそが、皆さんがインクルーシブ社会の実現に向けた当事者として、大きく成長するための貴重な糧となります。

今日まで温かく支えてくださったご家族や先生方への感謝の気持ちを胸に、これまでの努力の成果を存分に発揮し、大会を全力で楽しんでください。

本大会が、皆さんにとって一生の宝物となる素晴らしい経験になることを確信しています。皆さんの熱いプレーと、今大会の確かなご成功を心よりお祈り申し上げます。

祝辞

Congratulatory Message



兵庫県知事

齋藤　元彦

このたび、第５回全国特別支援学校フットサル大会が兵庫県で盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。全国各地から出場される選手の皆様、日頃から熱心にご指導いただいている指導者の皆様、温かく支えてこられたご家族の皆様に、深く敬意を表します。また、本大会の開催にご尽力いただきました公益財団法人日本ライオンズの皆様をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

本大会は、「自立とRESPECT」を理念に掲げ、全国の特別支援学校で学ぶ生徒の皆様が、日頃の練習の成果を発揮し、学校や地域の枠を越えて交流を深める貴重な機会です。仲間と声を掛け合いながらボールをつなぎ、一つの目標に向かって力を合わせる経験は、互いを認め合い、自ら考え行動する力を育むものです。ピッチで懸命にプレーする皆様の挑戦は、多くの人に勇気と感動を与え、誰もが自分らしく活躍できる共生社会への歩みを後押しするものです。

兵庫県では、誰もがスポーツに親しみ、それぞれの力を発揮できる環境づくりを進めています。神戸2024世界パラ陸上の成果を生かしながらパラスポーツの推進を図るとともに、ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催に向け、生涯にわたってスポーツを楽しめる地域づくりにも取り組んでいます。皆様にとって、兵庫での経験が、未来への自信と希望につながることを願っています。

結びに、本大会の成功と、選手並びに関係者の皆様の今後ますますのご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

祝辞

Congratulatory Message



兵庫県姫路市長

清元　秀泰

第５回全国特別支援学校フットサル大会が、ここ姫路において盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

全国各地からお越しの選手、関係者の皆さま、ようこそ姫路へおいでくださいました。姫路市を代表して心より歓迎申し上げます。

選手の皆さまには、日頃の練習の成果をいかんなく発揮し、仲間と切磋琢磨しながら、終始フェアプレーを貫き、フットサルを通じて対戦校との交流の輪を広げていただくことを大いに期待しております。

また、姫路にご滞在の間には、世界文化遺産・国宝姫路城をはじめ、城下町の街並みや播磨ならではの豊かな食の魅力にも触れていただければ幸いです。そして、姫路でのひとときが皆さまの学生生活におけるかけがえのない思い出となりますことを願っております。

結びに、本大会の開催にご尽力をいただきました公益財団法人日本ライオンズをはじめ関係の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、選手の皆さまのご健闘と大会のご盛会を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝辞

Congratulatory Message



全国特別支援学校長会

会長　緒方　直彦

第5回全国特別支援学校フットサル大会の開催を心よりお祝い申し上げます。

また、本大会の開催に御尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

昨年度までの大会を積み重ね、本大会が第5回という節目を迎えられたことを大変うれしく思います。

フットサルの魅力は、ゴールを競うことだけではありません。選手同士が声を掛け合い、互いのよさを認め合いながら一つの目標に向かうことで、人と人とのつながりが生まれます。

そして、その姿は学校や地域、さらには社会へと広がり、多くの人々に勇気や希望を届けてくれます。

全国各地から集まった選手の皆さんは、それぞれの学校で仲間とともに練習を重ね、この舞台にたどり着きました。ぜひ、この大会で新しい仲間と出会い、多様な経験や考え方に触れ、自らの世界をさらに広げてください。競技を通して得た交流や友情は、皆さんの人生を豊かにする大切な財産になることでしょう。

大会中は、一人一人が持てる力を存分に発揮し、フェアプレーの精神を大切にしながら、フットサルを心から楽しんでください。

本大会が選手の皆さんの成長と自信につながる素晴らしい機会となることを願い、祝辞といたします。

祝辞

Congratulatory Message



兵庫県教育委員会

教育長　木村　晶子

このたび、「第５回全国特別支援学校フットサル大会」が、ここ兵庫県において盛大に開催されましたことを、心よりお慶び申し上げます。本大会の開催に当たり、御尽力いただきました公益財団法人日本ライオンズの皆様をはじめ、関係者の皆様、御支援いただいた多くの方々に深く敬意と感謝の意を表します。

本大会では、全国各地から集まった選手の皆様が日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げるとともに、関係者への礼儀や感謝の気持ちを言葉と行動で示す姿は、観る者に大きな勇気と希望を与えてくれるでしょう。

選手の皆様には、この大会で培った自信と友情、そして本大会のコンセプトである「自立とRESPECT」の精神を大切にしながら、一人一人が持つ可能性を伸ばし、卒業後にそれぞれの夢や目標の実現に向かって力強く歩んでいかれることを期待しています。

結びに、本大会の成功に改めてお祝いを申し上げますとともに、参加されたすべての皆様の今後ますますの御活躍と御健勝を祈念し、祝辞とさせていただきます。

祝辞

Congratulatory Message



姫路市教育長

久保田　智子

「第５回全国特別支援学校フットサル大会」が盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

全国各地の厳しい予選を勝ち抜き、日頃のたゆまぬ練習の成果を結実させて今大会への出場を果たされた選手の皆様、誠におめでとうございます。目標に向かって仲間とともに汗を流し、情熱を傾けてこられた皆様の努力に対し、深く敬意を表します。

2026年11月、世界文化遺産・姫路城を擁する歴史と文化のまち姫路の地に、全国から多くの選手、役員、そしてご家族の皆様をお迎えできますことは、私たち姫路市民にとりましても大きな喜びであり、心より歓迎申し上げます。

フットサルは、限られたコートの中で瞬時の判断力と、互いを深く信頼し合う確かなチームワークが求められる競技です。一人ひとりが培ってきた技と誇りを胸に、仲間と声を掛け合い、最後まで諦めずにボールを追いかける姿は、観る者すべての心に大きな感動と勇気を与えてくれるものと確信しております。

この豊かな風土と歴史が息づく姫路の地で、コート上での競い合いはもちろんのこと、全国の仲間と真心を込めて交流を深め、勝敗を超えたかけがえのない絆と大きな成長という財産を持ち帰っていただくことを切に願っております。

結びに、大会開催に向けて多大なるご尽力を賜りました関係者並びに指導者、保護者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本大会が実り多き大会となりますことと、選手の皆様の健闘ならびに今後の飛躍を祈念いたしまして、祝辞といたします。

開催要項 Tournament Outline

1 目　的

本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他校生徒に敬意を持って接することにより、広く社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向け当事者としての成長に寄与することを目的に開催します。

2 主　催

公益財団法人日本ライオンズ

3 協　賛

ライオンズクラブ国際財団（LCIF）

4 後　援

スポーツ庁、全国特別支援学校校長会、兵庫県、姫路市、兵庫県教育委員会、姫路市教育委員会、兵庫県特別支援教育諸学校長会

5 主　管

第５回全国特別支援学校フットサル大会　実行委員会

6 運営協力

ライオンズクラブ国際協会 330 及び 333 複合地区

7 全国大会

（1）開催日時　2026 年 11 月 7 日（土）　午前９時
（2）会　　場　競技会場　ヴィクトリーナ・ウインク体育館（姫路市立中央体育館）　姫路市西延末 90 番地
　　宿　　泊　ホテルモントレ姫路
　　式　　典　ホテルモントレ姫路
（3）日　　程　2026 年 11 月 7 日（土）　午後３時半～　抽選会　ヴィクトリーナ・ウインク体育館
　　午後５時　開会式　ヴィクトリーナ・ウインク体育館
　　午前９時～　競技会　ヴィクトリーナ・ウインク体育館
　　午後６時　表彰式・閉会式　ヴィクトリーナ・ウインク体育館
（4）宿　　泊　ホテルモントレ姫路　住所：〒670-0927 兵庫県姫路市駅前町 60

8 地区大会

（1）日　　程　2026 年７月～９月までの間に、全国 12 地区において地区大会を開催すること
（2）開催組織　各地区大会は、次の組織等が担当すること。

地区大会	ライオンズクラブ担当	地区大会の担当組織	主管担当
北海道地区	331　片山　雅裕	公益財団法人明日佳	鈴木　重男
東北地区	332　渡邊　俊弥	一般社団法人東北サッカー協会	天本　清隆
		東北福祉大学	大西　孝志
東関東地区	333　久保田 信也	関東知的障がい者サッカー連盟	木村　純一
西関東地区	330　倉田　雅史		
北信越地区	334　大山　恭範	一般社団法人北信越サッカー協会	谷内　浩仁
東海地区	334　野村　政司	東海地区大会実行委員会	高橋　敬
東関西地区 西関西地区	335　廣田　晃一	関西知的障がい者サッカー連盟	芥川　豊和
中国地区 四国地区	336　池原　堅	環太平洋大学サッカー部	坂手　雅斗
北九州地区	337　池上　信	一般社団法人沖縄県障がい者サッカー連盟	金城　充
南九州地区		社会福祉法人杉の木会　杉の木園	清末　直樹

9 出場資格

（1）教育課程　特別支援学校学習指導要領に基づく教育課程で学ぶ特別支援学校等であること。
（2）チ　ー　ム　単独校生徒で編成されたチームであること。
（3）校長承認　各校は校長の承認の下で、1 チームを参加すること。
（4）編　　成　1 チームの上限は、生徒 8 名、引率者 3 名、合計 11 名で編成すること。
（5）補　　助　各地区大会出場校は、地区大会予算の範囲内で助成を受けることができる。
（6）地区大会　各地区大会は、各地区の状況を踏まえた大会要領の下で開催すること。
（7）全国大会　地区大会の優勝校は、主催者が経費負担する全国大会に出場すること。

10 競技方法

国際サッカー連盟制定のフットサル競技規則を適用するものとする。
競技規則の詳細は、全国大会要項及び地区大会要項による。

11 その他

生徒の卒業後の就労・生活等に役立つよう、生徒の主体性を重んじること。

運営組織 Management Organization

第 5 回全国特別支援学校フットサル大会　姫路大会　組織図

大会会長

公益財団法人 日本ライオンズ　理事長	小野寺　眞悟

大会副会長

公益財団法人 日本ライオンズ　理事	廣田　晃一

大会総括責任者

335 複合地区ガバナー協議会議長	永田　雅章

大会実行委員長

335D 地区委員長	須々木　智

大会顧問

国際理事	仁科　良三
国際理事	田名部　智之
国際理事	松岡　勲
LCIF 理事	鶴嶋　浩二

大会統括副委員長

335A 地区ガバナー	古谷　茂政
335B 地区ガバナー	堀　典之
335C 地区ガバナー	菊池　薫
335D 地区ガバナー	小谷　誠一

大会実行副委員長（MD335）

335A 地区委員長	浜原　正豊
335B 地区委員長	西洞院　満寿美
335C 地区委員	一盛　広樹
335A 地区副委員長	松井　寿美子
335B 地区副委員長	森田　幸宏
335C 地区委員	野々山　宏
335C 地区委員	田端　俊三

大会補佐（335D 地区 ZC）

1R.1Z.ZC	水谷　重樹
1R.2Z.ZC	東郷　進
1R.3Z.ZC	楢木　忠
2R.1Z.ZC	秋元　吉春
3R.1Z.ZC	竹中　和彦
4R.1Z.ZC	西村　功
5R.1Z.ZC	西川　光明

第一部会　総務・財務・迎接・受付・会場案内

委員長	赤松　由健
副委員長	前田　和彦
副委員長	飯塚　隆治

第二部会　式典・抽選会・式典スケジュール

委員長	首藤　拓也
副委員長	本庄　正人
副委員長	白井　信雄

第三部会　競技運営・会場設営・審判・救護

委員長	奥田　裕樹
副委員長	梅田　栄司
副委員長	神崎　政典

第四部会　移動・宿泊・学校対応・旅行社

委員長	岩見　寿人
副委員長	三木　清
副委員長	曽我　俊介

第五部会　プログラム・広報・マーケティング

委員長	水瀬　ニコラスミッキー
副委員長	山本　正博
副委員長	米田　稔

第六部会　大会イベント・式典イベント

委員長	山田　雅昭
副委員長	古谷　直也
副委員長	白石　基

大会日程 Tournament Schedule

11/6 金曜日

ホテルモントレ姫路

15:30	マッチコーディネーションミーティング	対象：地区主管、引率責任者、チームキャプテン、実行委員 大会スケジュール説明、大会ルール確認、参加選手の確認、抽選会　等		
17:00	開会式			
	● 開会宣言	公益財団法人日本ライオンズ	理事	廣田　晃一
	● 国歌斉唱			
	● 優勝旗返還	東京都立中央ろう学校	キャプテン	佐藤　一侍
	● 参加校紹介			
	● 大会会長挨拶	公益財団法人日本ライオンズ	理事長	小野寺 眞悟
	● 来賓祝辞	スポーツ庁長官		河合　純一（ビデオメッセージ）
		兵庫県知事		斎藤　元彦
		姫路市市長		清元　秀泰
		ライオンズクラブ国際財団	LCIF理事	鶴嶋　浩二
		大阪府サッカー協会会長		永島　昭浩
		全国特別支援学校校長会	会長	緒方　直彦（岩崎　正彦 代読）
	● 抽選会結果発表			
	● 選手宣誓	西神戸特別支援学校		幾島　直人
	● 記念品紹介	姫路白鷺特別支援学校校長		岩崎　正彦
17:50	● 閉会宣言	公益財団法人日本ライオンズ	理事	廣田　晃一
18:00	会食			
20:00	閉宴の挨拶	公益財団法人日本ライオンズ	副理事長	大山　恭範

11/7 土曜日

ヴィクトリーナ・ウインク体育館

7:30	実行委員集合			
8:50	参加校入場			
9:00	● 開幕宣言			
9:01	● 大会会長挨拶	公益財団法人日本ライオンズ	理事長	小野寺 眞悟
9:05	● ライオンズクラブ国際協会 335複合地区ガバナー協議会議長挨拶		大会総括責任者	永田　雅章
9:08	● 来賓挨拶	衆議院議員		山田　基靖
9:12	● 準備体操			戸西　寿和
9:20	試合開始			
10:00	理事会			
11:00	試合の空き間に昼食案内			
11:00	合同パートナー会議			
12:00	ハーフ・タイム・ショー	レックス体操クラブ		
16:00	試合終了　実行委員　集合			
16:15	閉会式			
16:18	来賓祝辞	姫路市市長		清元　秀泰
	閉式挨拶	兵庫県サッカー協会会長		高砂　佳世
16:30	引継ぎ式			
	● 大会旗引継ぎ	公益財団法人日本ライオンズ	理事	廣田　晃一
	● 次期開催地挨拶	公益財団法人日本ライオンズ	理事	池原　　堅
16:45	井本　貴史トークショー		ライセンス	井本　貴史
17:16	記念撮影			
17:20	ラッキーカード抽選・発表			
17:25	成績発表・表彰		実行委員長	須々木　智
17:35	閉会宣言	公益財団法人日本ライオンズ	理事	廣田　晃一

ホテルモントレ姫路

生徒食事交流会

18:25	優勝校入場			
18:30	食事交流会開始			
18:30	挨拶	大阪府立泉支援学校		芥川　豊和
18:32	主催者挨拶		大会実行副委員長	赤松　由健
	● 食事			
	● 今回のハイライト・エンドロール			
	● 優勝チームのコメント			
20:30	食事交流会終了　挨拶		大会委員長	須々木　智

懇親会

18:35	優勝校入場			
18:40	開宴挨拶　総括	公益財団法人日本ライオンズ	評議員	高井　利夫
18:43	乾杯発声	大会事務局長		浜原　正豊
	● 食事			
20:40	閉宴のご挨拶	公益財団法人日本ライオンズ	理事	廣田　晃一

競技規則 Competition Rules

原則として、(公財)日本サッカー協会制定の「フットサル競技規則」を適用する。

① 本大会は全国 12 地区の地方予選の代表校にて実施する。
② ボールは、4 号フットサルボールを使用する。
③ 選手の交代は自由である。試合開始前に選手全員が審判に用具のチェックを受け、試合中の申し出は不要とする。交代時は、自陣交代ゾーン付近にてピッチ内の選手が完全にピッチの外に出てから、次の選手がピッチ内に入る。監督は責任をもって、選手交代の管理監督を行う。
④ キックインは、ボールがピッチから出た地点のサイドライン上から静止したボールを 4 秒以内に蹴る。相手競技者はボールから 5m 以上離れる。
⑤ ゴールクリアランスは、ゴールキーパーがペナルティエリア内から 4 秒以内に実施する。相手競技者はキーパーからボールがリリースされるまでペナルティエリア内に入ることが出来ない。
⑥ キックインから直接ゴールは出来ない。直接ゴールした場合は、ゴールクリアランスから再開する。
⑦ キックイン、フリーキック等による再開する際は、相手競技者は 5m 以上離れる。
⑧ ファイブファウルは、決勝リーグ戦のみ適用する。この場合、前、後半それぞれ各チームの累積ファウル 6 つ目からファウルの起きた地点、もしくは第 2 ペナルティーマークのどちらかを選択し直接フリーキックを行う。この場合、ファウルをしたチームの選手は、GK を除きボールとゴールラインの間に位置することはできない。
⑨ 試合時間は、大会本部が示した所定の時間のランニングタイムで行う。所定の時間は以下の通り。
- 予選リーグ及び順位決定リーグは 15 分
- 決勝リーグは、10 分ハーフ、前後半実施(尚、ハーフタイムとして 5 分間の休憩を設ける)

⑩ 決勝リーグについては、前半・後半でコートチェンジを行う。
⑪ 順位の決定は以下のとおりとする。
1 勝ち点(勝利…3 点、引分…1 点、敗北…0 点)
2 得失点差(総得点－総失点)
3 総得点が多いチーム
4 当該チームの成績
5 抽選(コイントス)

⑫ 決勝リーグ及び順位決定リーグで順位が確定しない場合には、両チーム 5 名の PK 方式を実施し、勝敗を決める。
⑬ タイムアウトは適用しない。
⑭ 安全面を考慮し、対人場面でのスライディングタックルを禁止する。なお、危険行為等が起きた際は、その場から直接フリーキックにて再開する。
⑮ バックパスルールは競技規則通りに適用する。
⑯ 退場処分は、レッドカードもしくは 1 試合 2 度のイエローカードによるものとするが、次の試合には累積しない。退場後の選手の補充は競技規則に則るものとする。
⑰ 選手は、同色のユニフォームを着用する。ユニフォームがない場合、又は両チーム同色の場合は、各チームのビブス(各チームはユニフォームと色が異なるビブスを持参すること)の着用により対処する。
⑱ 出場選手は必ずレガースを着用することとする。
⑲ ネックレス、指輪、ピアスなどの装飾品を装用することは禁止とする。ヘッドギアやフェイスマスク、膝や肘のサポーターは柔らかくパッドの入ったものとする。眼鏡を着用する際は、スポーツメガネ、又はゴーグル等でカバーすること。いずれの場合もチームの第 1 試合の前に主催者の承認を得ることとする。
⑳ ベンチには大会に登録された選手、スタッフのみが入れる。
㉑ 原則として監督には「交代指示及び身体等の危険・緊急時の指示」のコーチングを許可する。但し通常のゲーム中においては、監督及びコーチ等によるコーチングは本大会の主旨により、原則、禁止とする。

競技スケジュール Competition Schedule

試合スケジュール

時間	試合	Aコート	Bコート
9:00-9:10		受付	
9:15-9:20		開会式	
9:30-9:45	①	A1-A2	B1-B2
9:50-10:05	②	C1-C2	D1-D2
10:10-10:25	③	A2-A3	B2-B3
10:30-10:45	④	C2-C3	D2-D3
10:50-11:05	⑤	A1-A3	B1-B3
11:10-11:25	⑥	C1-C3	D1-D3
11:25-12:25		ハーフタイムショー	
12:25-12:50	⑦	9位T①	9位T②
12:55-13:20	⑧	5位T①	5位T②
13:25-13:50	⑨	1位T①	1位T②
13:55-14:20	⑩	11位決定戦	9位決定戦
14:25-14:50	⑪	7位決定戦	5位決定戦
14:55-15:20	⑫	3位決定戦	
15:35-16:00	⑬	決勝	
16:15		閉会式	

試合時間

・予選リーグ　15分1本
・決勝トーナメント　10-5-10分

対戦表

Aブロック	A1	A2	A3
A1		①	⑤
A2	①		③
A3	⑤	③	

Bブロック	B1	B2	B3
B1		①	⑤
B2	①		③
B3	⑤	③	

Cブロック	C1	C2	C3
C1		②	⑥
C2	②		④
C3	⑥	④	

Dブロック	D1	D2	D3
D1		②	⑥
D2	②		④
D3	⑥	④	

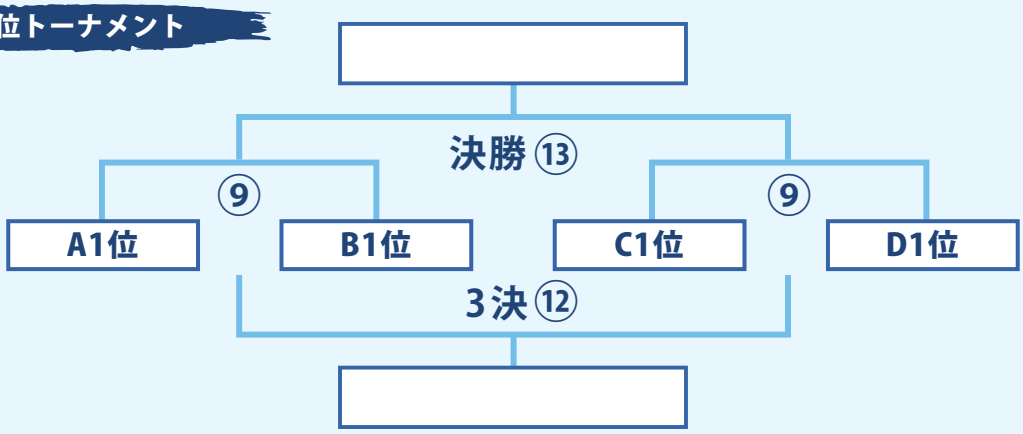
Aブロック	勝　敗	勝ち点	得点	失点	得失点差	順　位
A1	勝　敗　引分					
A2	勝　敗　引分					
A3	勝　敗　引分					

Bブロック	勝　敗	勝ち点	得点	失点	得失点差	順　位
B1	勝　敗　引分					
B2	勝　敗　引分					
B3	勝　敗　引分					

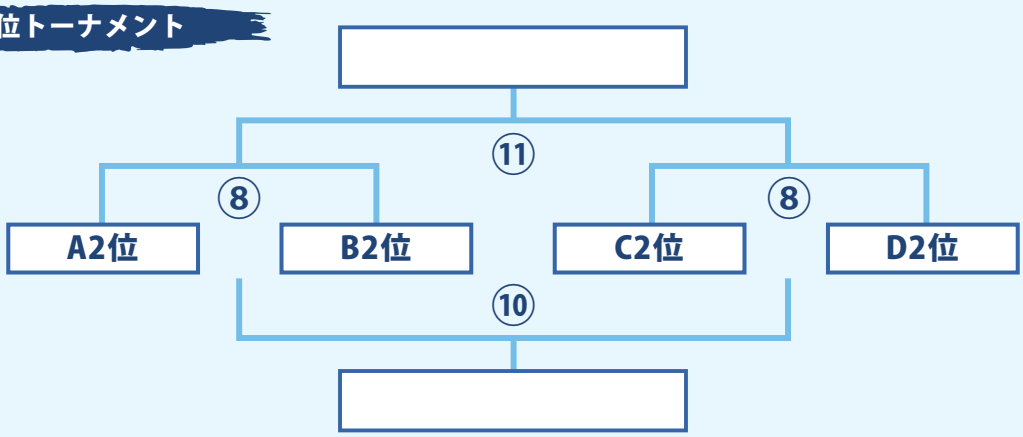
Cブロック	勝　敗	勝ち点	得点	失点	得失点差	順　位
C1	勝　敗　引分					
C2	勝　敗　引分					
C3	勝　敗　引分					

Dブロック	勝　敗	勝ち点	得点	失点	得失点差	順　位
D1	勝　敗　引分					
D2	勝　敗　引分					
D3	勝　敗　引分					

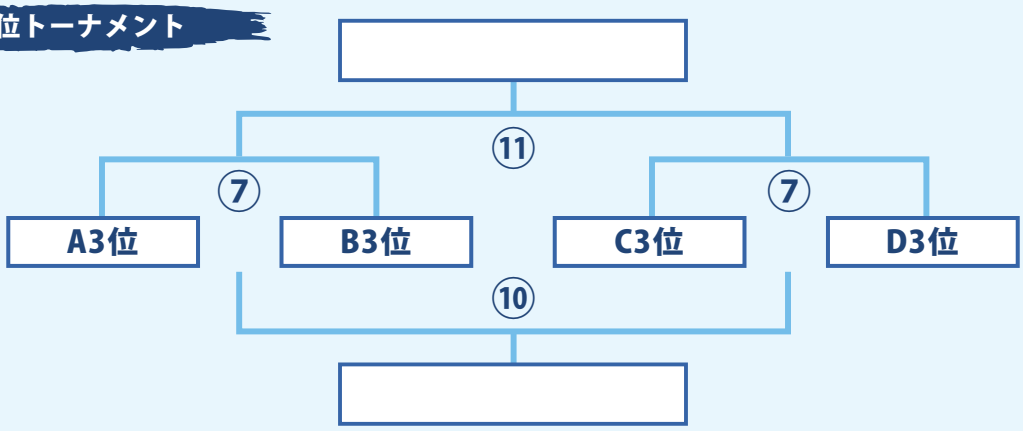
1位トーナメント



2位トーナメント



3位トーナメント



出場校紹介

北海道白樺高等養護学校サッカー部



〒061-1264　北海道北広島市輪厚621-1

全校生徒：137人　　部員：15人

About our school

北海道白樺高等養護学校は「自己の能力を伸ばし、心豊かに、たくましく生きる人を育てる」を学校目標に、学校がある北広島市の方々に支えられ、作業学習を中心に様々な活動をしています。
日頃の練習の成果を発揮し、諦めずにプレーをします。様々な人の期待を胸に全国の舞台で良いプレーができるように頑張ります。

Team staff



監督　赤澤　有輝



コーチ　坪内　駿



アシスタントコーチ　濱谷　良介

Comment

本大会があることに感謝の気持ちをもち、そして相手へのリスペクトを忘れず、積み上げてきた力を思う存分に発揮し楽しみます。





Player



no.2 FP

小堀　司（高3）

キャプテンとして、チームを引っ張り、上位にいけるよう頑張りたいと思います。



no.1 GK

野崎　琥大朗（高3）

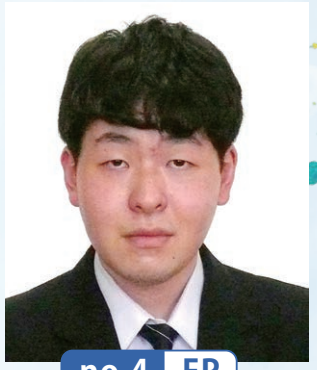
ゴールを守れるように頑張ります。



no.9 FP

中山　志音（高3）

1点でも多く決めたいと思います。



no.4 FP

上保木　志音（高3）

ディフェンスを頑張り、勝利へ貢献したいです。



no.8 FP

前田　涼（高3）

全力でプレーし、ひとつでも多く勝てるようにしたいです。



no.5 FP

火ノ川　来武（高2）

ディフェンスを頑張りたいです。



no.6 FP

後藤　龍成（高2）

一生懸命ボールを追いたいです。



FP

S・K（高1）

どんどんシュートを狙っていきます。

大会成績 Results

予選リーグ戦

- ○ 10-0 vs 小樽高等支援学校
- ○ 6-1 vs 紋別高等養護学校
- ○ 4-1 vs 今金高等養護学校

準決勝

- ○ 2-1 vs 豊明高等支援学校

決勝戦

- ○ 3-1 vs あいの里高等支援学校

Uniform

メイン



出場校紹介

宮城県立秋保かがやき支援学校サッカー部



〒982-0241　仙台市太白区秋保町湯元字鹿乙20

全校生徒：252人　部員：16人

About our school

本校は、創設３年目。地域・人・自然とのつながりを最大限に取り入れた学び舎での教育活動を通じて、生涯にわたり一人一人が自分らしく、自分の良さを発揮し、輝き続けられる児童生徒を育成します。

本校サッカー部は、創部 3 年目で初の全国大会に挑みます。日頃からサポート、応援してくれている方々の期待に応えられるように、最後の最後まで全力で戦いたいと思います。

Our Spirit

学校創設当初から、この全国大会のことを伺い、出場することを一つの大きな目標として、日々の練習に取り組んでまいりました。

これまで本当にたくさんの方々から温かい応援と御支援、御協力をいただき、そのおかげで全国大会への切符を手にすることができました。支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

全国の舞台で、各地から集まったチームの高いレベルを肌で感じ、挑戦できることを大変うれしく思います。この貴重な機会を大切にし、チャレンジャー精神を忘れず、これまで積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮できるよう、すべての試合にチーム一丸となって全力で臨みたいと思います。

Team staff



監督　山口　聖



コーチ　郷家　津翼



コーチ　小野寺　光



コーチ　五十棲　康紘

Comment

多くの方々の応援と御協力のおかげで、目標としてきた全国大会への出場を果たすことができました。支えてくださった皆様への感謝を胸に、チャレンジャー精神を忘れず、全国の舞台で一戦一戦全力を尽くします。





Player



no.1 GK

髙橋　瑛太郎（高2）

全力笑顔・全力プレー！
最高の仲間いや兄弟達と
日本一の景色を！



no.2 FP

齋藤　颯来（高3）

1試合でも多く勝てるように
全力で頑張ります！



no.3 FP

石川　雅人（高3）

メンバーに入れなかった人の分
まで1勝ずつ丁寧に試合します！



no.4 FP

照井　悠真（高3）

日々の練習の成果を試合で
生かせるように頑張ります！



no.5 FP

庄司　真人（高2）

全国の舞台で全力で集中し、
仲間と協力して優勝したいです！



no.6 FP

吉田　煌太（高1）

最後まで諦めずに自分の力を
出したいです！



no.7 FP

佐藤　航（高3）

まず1勝し、みんなで全力で
良い結果を残したいです！



no.8 FP

屋代　寿夢（高3）

気持ちで負けないように
全力で頑張ります！

大会成績 Results

予選リーグ戦

○ 3-0
vs 秋田県立支援学校天王みどり学園

準決勝

○ 1-0
vs 青森県立八戸
高等支援学校

決勝

○ 1-1（PK3-2）
vs 宮城県立支援学校
岩沼高等学園

Uniform



出場校紹介

千葉県立特別支援学校流山高等学園サッカー部



本校：〒270-0135　千葉県流山市野々下2丁目496-1
第二キャンパス：〒270-0145　千葉県流山市名都借140

全校生徒：282人　部員：17人

About our school

千葉県流山市にある高等部単独の特別支援学校です。千葉県で初めて設置された高等部単独の学校として、今年度３０周年を迎えることができました。職業教育を中心に卒業後の生活自立・社会自立・職業自立を目指した教育を行っています。
学校のスローガンは「Let's Try（挑戦と創造）」です。

Our Spirit

３年生から１年生まで在籍しているバランスの良いチームです。
全国大会は４年ぶりなので、全員守備で粘り強いプレーを目指します。

Team staff



監督　牛島　大悟



コーチ　五十嵐　達也



コーチ　廣本　陸

Comment

千葉県、関東のチームの代表として責任をもって戦います。全員で一つになり全力プレーで臨みます。









Player



no.4 FP

清家　健（高3）

キャプテンとして、チームを
優勝できるように頑張ります！



no.10 FP

大竹　広隼（高3）

優勝という忘れ物を
取り戻します。



no.11 FP

千葉　浩太（高3）

チームで勝つ！ vamos!!!



no.6 FP

稲垣　友我（高3）

優勝目指してチーム一丸と
なって頑張ります！



no.8 FP

野宮　湧誠（高2）

良いシュート打ちます！



no.2 FP

富永　圭一（高2）

コート中走り回って優勝
目指して頑張ります！



no.1 GK

森田　楓祐（高2）

良い顔して頑張ります！



no.7 FP

荒井　泰河（高1）

千葉県代表として４年ぶりの
全国大会に出場できるので
頑張ります！

大会成績 Results

予選リーグ戦

○ **1-0** vs 千葉市立高等特別支援学校

○ **1-1** vs 千葉県立特別支援学校市川大野高等学園
（PK4-2）

順位決定リーグ戦

○ **3-2** vs 茨城県立水戸高等特別支援学校

○ **3-1** vs 栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園

Uniform

メイン

FP			GK		
紫	紺	紺	朱	黒	オレンジ

サブ

FP			GK		
赤	紺	紺	グレー	黒	グレー

出場校紹介

東京都立中央ろう学校フットサル同好会



〒168-0073　東京都杉並区下高井戸2-22-10

全校生徒：112人　　部員：15人

About our school

本校は、中学部・高等部の６年間を見通した教育課程を編成し、大学進学等を目指す中高一貫型のろう学校として平成 18 年に開校し、今年で創立 21 年目を迎えます。全国特別支援学校フットサル大会出場に向け、昨年の６月にフットサル同好会を創設しました。
同好会のメンバーは、普段は野球部や陸上競技部、バレーボール部、卓球部等、他の部活動に所属しており、限られた時間の中で練習に励んでいます。西関東の代表として誇りと自覚をもって、2 連覇を目指して頑張ります。

Team staff



監督　鋤田　嵐士



顧問　大江　凛



顧問　内木場　美紗

Comment

日頃から支えてくださる皆様への感謝の気持ちを胸に、仲間を信じ、最後の一秒まで全力で走り抜きます。全国の舞台で自分たちらしいフットサルをし、挑戦することを楽しみながら、チーム一丸となって闘います。





Player



no.10 FP

佐藤　一侍（高3）

全国２連覇は俺たちが獲る。
全てを懸け、最後は笑顔で終わる。



no.1 GK

新里　琉杜（高3）

いいシュート待ってます。



no.7 FP

池田　俊也（高3）

楽しむ心を忘れずに１戦１戦
全力で戦います



no.37 FP

野口　彩葉（高3）

１戦１戦を大切に、悔いなく
戦い、全国２連覇を目指します！



no.19 FP

石原　剛毅（高2）

僕はゴールを生まれ変わらせる‼
たくさんゴールを決めてやる‼



no.66 FP

清水　颯太（高1）

誰に批判されようと
自分だけは見捨てるな



no.21 FP

水谷　圭孝（高1）

フィジカル勝負なら負けません



no.18 FP

土岐　美らら（高1）

好きこそ物の上手なれ

大会成績 Results

リーグ戦

○ 2-0 vs 山梨県立高等支援学校桃花台学園
○ 1-0 vs 東京都立南大沢学園
○ 3-0 vs 横浜市立日野中央高等特別支援学校

Uniform

メイン



出場校紹介

富山県立富山高等支援学校フットサル部



〒939-2206　富山県富山市坂本2600

全校生徒：51人　　部員：11人

About our school

平成 25 年、北陸初の軽度の知的障害者を教育の対象とする特別支援学校として開校した本校は、地域社会に貢献し、活躍できる人材の育成を目指し、卒業生を社会に送り出してきました。全国大会へは、4 年連続 4 度目の出場となります。先輩たちの思いを引継ぎ、「北信越大会連覇、次こそ日本一！」を目標に頑張ってきました。リスペクト精神を忘れず、気持ちを熱く、もっている力を出し切りたいと思います。

Team staff



監督　河村　拓



コーチ　土井　響



コーチ　井ノ上　英樹

Comment

支えてくれた方々に感謝して、競い合った仲間の思いを背負って、最後まで粘り強く戦います。そして、全力で大会を楽しみます。よろしくお願いします。





Player



no.1 GK

坂藤　大地（高3）

最後まで、ゴールを守り
優勝したいです！！



no.4 FP

柴田　蒼太（高2）

全力で守り切ります！



no.5 FP/GL

西境　翔大（高1）

全力で楽しむ！



no.6 FP

豊倉　陽向（高2）

優勝のためにチームの力に
なりたいです。



no.7 FP

福田　凱翔（高3）

魂を燃やして全力で
プレーします！！



no.8 FP

秦野　優希（高1）

チームで勝つ！



no.9 FP

布井　悠斗（高2）

全試合得点を取って
優勝したいです。



no.10 FP

増山　力斗（高3）

絶対優勝します！

大会成績 Results

予選リーグ戦

○ 2-1 vs 新潟県立江南高等特別支援学校

○ 1-0 vs 石川県立明和特別支援学校

準決勝

○ 5-0

vs 福井県立嶺北
特別支援学校

決勝戦

○ 2-1

vs 新潟県立江南
高等特別支援学校

Uniform



出場校紹介

岐阜県立可茂特別支援学校サッカー部



〒505-0016　岐阜県美濃加茂市牧野2007-1

全校生徒：347人　　部員：35人

About our school

当校は、小学部から高等部まで 347 名の児童生徒が、自己の可能性を最大限に伸ばし、夢や希望の実現に向けて学んでいます。サッカー部は「応援される人間になる」をチームビジョンに掲げ、競技力向上だけでなく人間性の成長を重視し、生徒が主体的に活動しています。「僕たちはできる」「できっこないをやらなくちゃ」を合言葉に挑戦を続け、県大会 4 年連続優勝を達成しています。

悲願のフットサル全国大会出場。その夢の舞台に立てる喜びと、全国の強豪校に挑戦できるわくわく感で胸が高鳴っています。全国の舞台でも「僕たちはできる」を体現し、最後まで全力で挑戦します。

Team staff



監督　北　直樹



コーチ　鈴木　悠史



コーチ　青木　舜

Comment

On the pitch では最後の 1 秒まであきらめない姿勢で戦い、Off the pitch では日本一の挨拶と整理整頓を目指します。





Player



no.4 FP

鈴木　凰太郎（高3）

キャプテンとしてチームを
引っ張れるように頑張ります。



no.6 FP

今井　奏斗（高3）

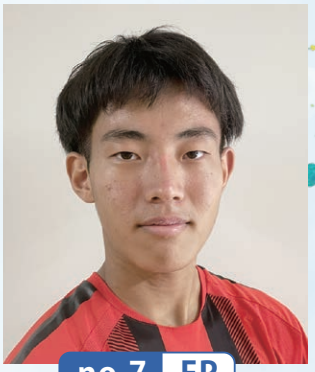
いい守備をして、いい攻撃に
つなげられるように
頑張ります！



no.3 FP

小池　和裕（高3）

粘り強い守備をして、
点を取りたいです。



no.7 FP

水野　銀士（高2）

ボールに最後まで
くらいつきます。



no.5 FP

宮元　ガブリエル（高2）

全国制覇！



no.11 FP

渡辺　タイチ（高2）

勝てるようにがんばります。



no.12 GK

能澤　颯之（高2）

無失点！！



no.8 FP

岩澤　志音（高2）

粘り強い守備を頑張ります。

大会成績 Results

予選リーグ戦

- ○ 1-0 vs 岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校
- ○ 3-1 vs 三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園
- ○ 2-1 vs 静岡県立富士特別支援学校富士宮分校

準決勝

- ○ 4-1
  vs 愛知県立名古屋聾学校

決勝戦

- ○ 3-1
  vs 岐阜県立西濃高等
  特別支援学校

Uniform



出場校紹介

奈良県立ろう学校サッカー部（NDFC）



〒639-1122　奈良県大和郡山市丹後庄町456

全校生徒：80人　　部員：9人

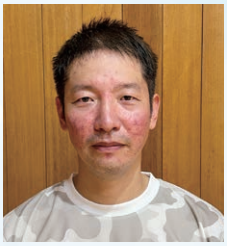
About our school

奈良県立ろう学校は、県内唯一の聴覚特別支援学校です。早期教育部から高等部まで設置されており、全校児童幼児生徒は８０名在籍しています。６年前に創部したサッカー部は、現在９名で活動しています。部員のほとんどが、中学や高校から始めたメンバーであり、サッカーが大好きなチームです。生徒数の減少により、最後の大会参加になるので、悔いのないよう全力で挑みます。是非応援よろしくお願いいたします。

Team staff



監督　隆宝　敏明



顧問　川代　一誠



顧問　古舘　静也



顧問　山中　淳生

Comment

選手・サポーターの絆を武器に全身全霊で挑みます。必ず感動を与えます。是非、奈良ろう魂をご覧ください。





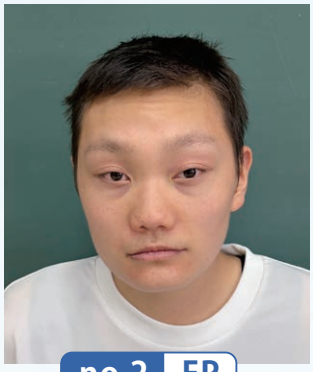
Player



no.1 GK

清水　南央（中3）

今まで練習してきたことを
忘れず最後まで本気を出す！



no.2 FP

伊藤　克馬（高1）

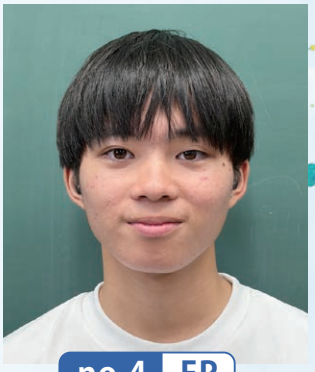
優勝に向けてパスを練習してきました。応援も一生懸命
がんばります。



no.3 FP

平井　淳暉（高3）

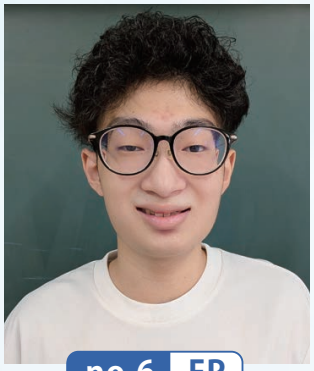
支えてくれた人たちの想いを
胸に、全国で勝利をつかむ！



no.4 FP

梶　正類（高3）

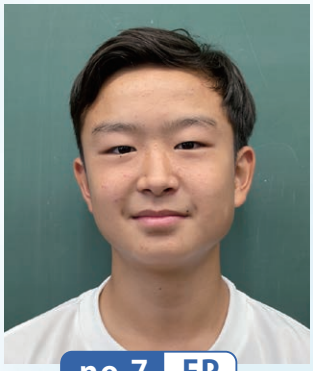
この日の為に応援してくれた皆
の期待に全力で応える！



no.6 FP

村上　斗和（高3）

優勝を目指して
頑張りたいです！



no.7 FP

平野　彪（中3）

一戦一戦を大切にし、悔いの
残らない最高の試合にします！



no.8 FP

岸上　瑛（高3）

自分の限界を超えて最高の
シュートが入るように
がんばります～！



大会成績 Results

予選リーグ戦

- ○ **5-0** vs 滋賀県立甲南高等養護学
- ○ **4-2** vs 京都府立東山総合支援学校

準決勝

- ○ **2-1**
  vs 京都府立丹波支援学校

決勝戦

- ○ **3-1**
  vs 京都府立井出やまぶき支援学校

Uniform

		FP			GK		
メイン		白	白	白	ピンク	ピンク	ピンク
サブ		青	白	青	緑	緑	緑

出場校紹介

兵庫県立西神戸高等特別支援学校 サッカー部



〒651-2204　兵庫県神戸市西区押部谷町高和1557-1

全校生徒：144人　　部員：15人

About our school

兵庫県立西神戸高等特別支援学校は、今年で開校 10 周年を迎える職業科の特別支援学校です。サッカー部は「我らはいつも挑戦者」をチームスローガンに、地域の中学生・高校生・大学生との交流や、他の特別支援学校との合同合宿、練習試合など、多くの出会いを大切に活動しています。昨年の全国大会で味わった悔しさと経験を糧に、さらに成長した姿をこの舞台で発揮します。節目となる 10 周年の年、地元・関西の代表として、感謝と誇りを胸に全力で挑戦します！

Team staff



監督　吉見　起一



ヘッドコーチ　小林　理究



アシスタントコーチ　馬渡　亮

Comment

ここまで来たことを誇るより、ここから何を残すか。失敗を恐れず、思いっきり挑んでほしい。
君たちなら、まだまだやれる。
我らはいつも挑戦者。
さあ、全国を楽しもう。





Player



no.10 FP

幾島　直人（高3）

チームを勝たせます。
そして優勝します。



no.5 FP

藤城　侑亜（高3）

今まで支えてくれた方にプレーで
恩返しできるように頑張ります。



no.1 GK

猪子　一天（高3）

チームを日本一に導くために
全力でゴールを守ります。



no.6 FP

奥村　海（高2）

みんなの応援を力に変えて、
走り切ってみせます。



no.8 FP

日川　維月（高2）

粘り強いプレーでチームに
貢献します。



no.11 FP

森本　拓己（高2）

試合が終わるまで全力を
出し切りチームを勝利に導きます。



no.7 FP

山下　柊希翔（高1）

日々の練習の成果を、ゴールと
いう結果で証明します。



no.9 FP

森川　琉輝（高1）

チームのために、一つ一つの
プレーに全力を尽くします。

大会成績 Results

予選リーグ戦

○ **6-1** vs 大阪府立だいせん聴覚高等支援学校

○ **1-0** vs 大阪府立なにわ高等支援学校

準決勝

○ **5-1**
vs 大阪府立たまがわ
高等支援学校

決勝

○ **1-1**（PK2-0）
vs 兵庫県立
高等特別支援学校

Uniform



出場校紹介

島根県立 益田養護学校 高等部 総合運動部



〒699-5132　島根県益田市横田町2120-1

全校生徒：91人　　部員：18人

About our school

島根県の西の端、山口県との県境い益田市にある島根県立益田養護学校です。学校は益田市が誇る水質日本一の清流高津川のほとりにあり、2000 年に開校した校舎には今年度は小学部・中学部・高等部合わせて９１名の児童生徒が在籍しています。
高等部では R5 年度からそれまであったサッカー部と陸上部を統合し、R５年度から総合運動部として活動し、年間を通して、陸上、サッカー、フットサル、ソフトボール、バドミントン、バレーボールなど様々な競技に取り組み、県の障がい者スポーツ大会に積極的に参加しています。特別支援学校フットサル大会には第１回大会から参加し、中国ブロック予選では２度の準優勝がこれまでの最高順位でした。今年度の大会はキーパーを中心とした組織的な堅守を武器に中国ブロック予選で優勝し、初の全国大会出場となりました。
これまで、あと一歩で全国大会に届かなかった先輩たちの想いも胸に、全国大会のピッチに立てることに感謝しながら、最後まで益養らしく粘り強い戦いをしたいと思います。

Team staff



監督　内藤　貴之



コーチ　宮﨑　真司



マネージャー 城市 由佳里

Comment

中国地区の代表として、念願の全国大会初出場です。大会に参加できること、練習相手をしてくれた方々、地区大会で戦った相手、送り出してくれる家族、様々な人に感謝し、最後まで益養らしく戦ってほしいと思います。





Player



no.1 GK

土江　健真（高3）

チームの守護神。
ゴールを守り切る。



no.6 FP

石川　蓮（高3）

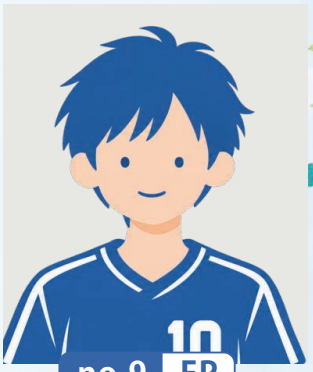
粘り強い守備、スピードを生かしたプレーでチームに貢献。



no.10 FP

神田　春音（高3）

チームのキャプテン、
チームを盛り上げる。



no.9 FP

新原　誠也（高3）

冷静な判断、
的確なディフェンス。



no.7 FP

永戸　陽希（高2）

チーム No.1 ドリブラー。
チャンスを生み出す。



no.5 FP

谷立　進（高2）

献身的なディフェンスで
守り切る。



no.8 FP

木村　紫音（高2）

粘り強いディフェンス。
めきめき成長中。



no.11 FP

前田　涼佑（高3）

ゴール前の勝負強さ、
ワンタッチプレーに注目。

大会成績 Results

予選リーグ戦

- ○ 4-0 vs 島根県立出雲養護学校
- ○ 2-1 vs 島根県立松江養護学校

順位決定リーグ戦

- ○ 2-1 vs 広島県立三原特別支援学校
- ○ 2-0 vs 鳥取大学附属特別支援学校

Uniform



出場校紹介



愛媛県立宇和特別支援学校 知的障がい部門

宇和特別支援学校 フットサル部

〒797-0029　愛媛県西予市宇和町永長1287-1

全校生徒：182人　　部員：15人

About our school

愛媛県の南予に位置している学校であり、食や自然が栄えた地域です。生徒一人一人が伸び伸びしており、日頃の練習も仲良く、切磋琢磨し合って活動しています。

Our Spirit

一人一人が持てる力を発揮し、チャレンジャーとしての気持ちで 1 試合 1 試合全力で頑張りたいと思います！

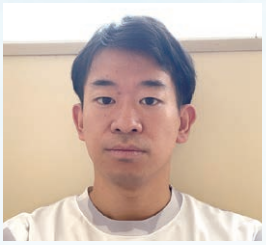
Team staff



監督　清家　哲



コーチ　渡森　博史



コーチ　岡田　凌

Comment

日頃の練習の成果を発揮し、自分たちの持てる力を精一杯発揮できるのを楽しみにしています！





Player



no.1 FP

高松　良（高3）

キャプテンとして、チームの勝利に貢献します！



no.2 FP

安田　隼斗（高3）

体を張った力強いプレーを見てください！



no.3 GK

寶泉　綾斗（高3）

どんなシュートも跳ね返します！



no.4 FP

横田　恵（高2）

出せる力を精一杯出し切ります！



no.5 FP

A・K（高1）

オールマイティーにチームの勝利に貢献します！



no.6 FP

福井　斗悟（高1）

迷わずシュートを振り抜き、得点を狙います！



no.7 FP

東　琉葵（高1）

前線でハードにプレッシャーを掛けまくります！



no.8 GK

山内　蒼太（高1）

声でチームを鼓舞します！

大会成績 Results

予選リーグ戦

○ **2-2** vs 香川県立香川東部支援学校（1回戦 1-0　2回戦 1-2　合計 2-2　PK方式で優勝決定）
（PK）

Uniform



出場校紹介

長崎県立虹の原特別支援学校サッカー部



〒856-0807　長崎県大村市宮小路3丁目5番1

全校生徒：332人　部員：12人

About our school

私たちが通う虹の原特別支援学校は、長崎県の中央部にある大村市にあります。全校生徒は３００名を超える大きな学校です。
サッカー部は１２名で活動しており、月曜日から木曜日の週４日、練習に励んでいます。これまで、なかなか九州大会や全国大会に出場することが叶わず、悔しい思いをしてきました。今年は、この舞台を目指し、厳しい練習を重ね、辿り着くことができました。
虹の原らしく一生懸命戦いたいと思います。

Team staff



監督　西本　龍平



コーチ　村上　傑



コーチ　假屋　依子

Comment

今大会、初出場になります。生徒たちは、この大会に向け、日々の練習に取り組んできました。大会はチャレンジャー精神を忘れず、長崎県、北九州地区代表として、１戦１戦を大切に闘いたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。





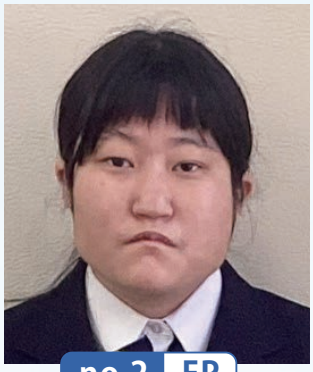
Player



no.1 GK

山本　篤志（高2）

1勝でも多く、勝てるように失点をしないように頑張ります。



no.2 FP

朝倉　ひな（高2）

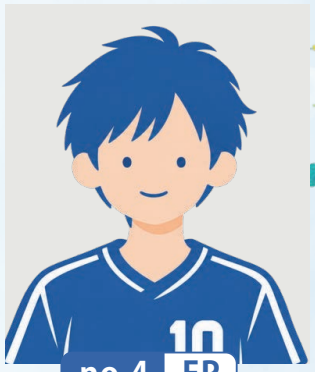
私は、九州大会1試合しか出れなかったので、多く出れるよう頑張ります。



no.3 FP

原田　快斗（高3）

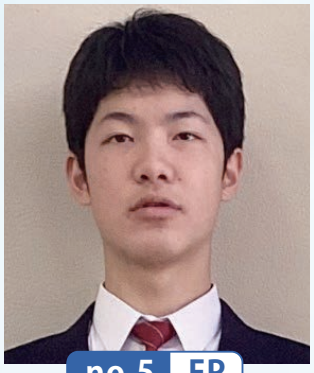
相手にシュートを打たせないよう、相手をよく見て止めます。



no.4 FP

平田　聖（高2）

相手の選手に抜かれないよう、身体を張って守ります。



no.5 FP

山下　晃雅（高2）

初出場ですが、優勝を目指して頑張りたいと思います。



no.6 FP

皆ヶ瀬　翔太（高3）

チームのメンバーで、記憶に残る最高の試合にしたいです。



no.7 FP

石川　瑛真（高2）

みんなでボールをつないで、チャンスを作ってゴールを決めます。



no.8 FP

森瀬　有真（高1）

みんなと全力で力を合わせ、走り抜けます。

大会成績 Results

リーグ戦

- ○ 1-0 vs 長崎県立島原特別支援学校
- ○ 3-1 vs 長崎県立希望ヶ丘高等特別支援学校
- ○ 6-2 vs 長崎県立佐世保特別支援学校

決勝トーナメント

- ○ 1-0 vs 佐賀県立伊万里特別支援学校
- ○ 1-0 vs 熊本県立熊本はばたき高等支援学校
- ▲ 0-0 vs 福岡県立特別支援学校（北九州高等学園）

Uniform



出場校紹介

鹿児島県立鹿児島高等特別支援学校サッカー部



〒892-0861　鹿児島県鹿児島市東坂元3丁目28-1

全校生徒：88人　　部員：13人

About our school

本校は、平成２４年に県内唯一の高等特別支援学校として開校し、卒業後の企業就職を目指した授業に取り組んだり、同敷地内の県立高等学校と合同授業を行ったりしています。

第１回、第４回、第５回と３回目の全国大会出場となりました。昨年度はフットサル、サッカーともに不本意な結果に終わってしまったので、リスペクト精神をもって試合に臨み、昨年度の成績を上回ることができるように一戦一戦を大事にプレーしていきます。

Team staff



監督・顧問　宮地　正敏



顧問　臼山　裕生



メンタルサポーター　島田　菜美

Comment

「今ここで競技できていること」と、「対戦相手との出会い」に感謝して、全国の強敵（とも）とのフットサルを楽しみましょう。





Player



no.1 GL

迫田　孝司朗（高3）

キャプテンに昇格。海千山千なメンバーを率先して乱します。



no.13 FP

中山　迦斗（高3）

副キャプテン。
華麗な左足キックの求道者。



no.8 FP

海老原　蓮（高3）

悩めるシューター。
路線変更中。



no.3 FP

永田　侑（高3）

続・冷静沈着。
チームの良心。



no.7 FP

中隈　彰斗（高1）

仲間と夢を追う熱い推し（おもい）は誰にも負けません。



no.16 GL/FP

友田　海斗（高1）

守備中も貫禄のウォーキング。



no.5 FP

福田　晄太郎（高1）

押してダメなら引いてみな。
違う蹴り方あるかもね。



no.9 FP

中﨑　柊星（高1）

体力の限界
『まだやれる　前半６分
早すぎる』

大会成績 Results

リーグ戦

○ **5-2** vs 大分県立大分支援学校
○ **5-2** vs 沖縄県立陽明高等支援学校
○ **22-0** vs 宮崎県立みなみのかぜ支援学校

Uniform



競技大会会場図 Competition Venue Map

■1階平面図



試合時・施設の注意事項について

- 試合は15分1本（ランニングタイム）
- 決勝戦のみ10分ハーフ（10分-5分-10分）

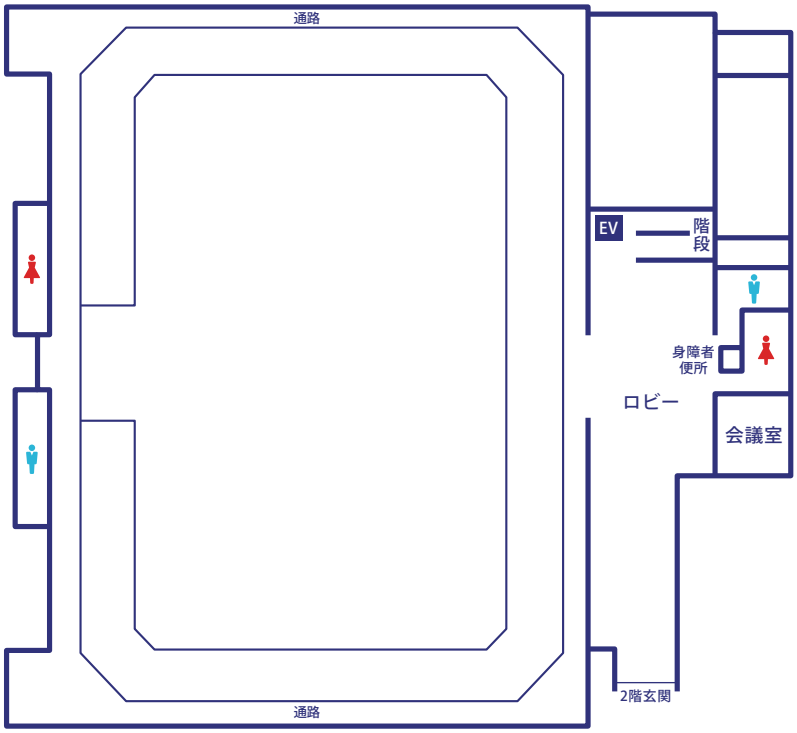
試合時について

※キックオフの時間は目安となっておりますのでスムーズにコート移動をお願いします。
※進行状況により試合時間は前後することがあります。
※大会の円滑に進行できるように主催・運営のご協力をお願い致します。
※スムーズな試合運びのため、次の試合を行うチームの皆さんは試合開始 5 分前にはサブアリーナ入口へお集まりください。

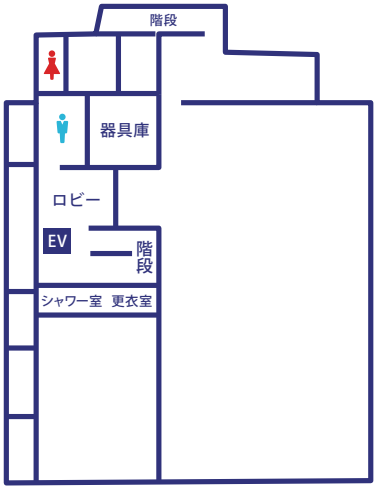
会場について

※アリーナ内での飲食は禁止となります。(水分補給は OK です)飲食はアリーナ以外の場所で行ってください。
※2 階観客席での飲食は可能です。
※会場敷地内は全面禁煙となります。

■2階平面図（観客席・生徒座席）



■3階平面図



第6回全国特別支援学校フットサル大会の開催告知

1	主　　催	公益財団法人日本ライオンズ
2	後援予定	スポーツ庁、広島県、全国特別支援学校長会、広島県教育委員会、福山市、福山市教育委員会
3	各地区大会の日程	2027 年令和 9 年 6 月～9 月までの間で、全国 12 地区において地区大会を開催
4	全国大会の日程	
	(1)開催期日	2027 年令和 9 年 11 月 6 日(土)
	(2)会　　場	競技会場：エフピコアリーナふくやま
	(3)日　　程	令和 9 年 11 月 5 日(金)　午後 4 時 00 分　抽選会・開会式　福山ニューキャッスルホテル
		令和 9 年 11 月 6 日(土)　午前 9 時 00 分　全国大会
		午後 5 時 00 分　表彰式・閉会式　福山ニューキャッスルホテル

公益財団法人日本ライオンズ主催　全国特別支援学校フットサル大会開催要項案

1	目　　的	本大会は、特別支援学校の生徒がフットサルを通して、日々、練習してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他校生徒に敬意を持って接することにより、広く社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的に開催します。
2	会　　場	エフピコアリーナふくやま
3	日　　時	2027 年令和 9 年 11 月 6 日(土)　9:00～
4	主　　催	公益財団法人日本ライオンズ
5	協　　賛	ライオンズクラブ国際財団(LCIF)
6	後　　援	スポーツ庁、広島県、全国特別支援学校長会
7	主　　管	第 6 回全国特別支援学校フットサル大会実行委員会
8	協　　力	ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区
9	日　　程	① 開会式　11 月 5 日(金)　16:00～　参加全校による開会式及び食事会 ② 競技会　11 月 6 日(土)　9:30～17:00　予選リーグ・順位決定リーグ ③ 閉会式　11 月 6 日(土)　18:30　参加全校による表彰・閉会式及び食事会
10	そ の 他	・1 校の選手団は生徒 8 名、引率者 3 名、計 11 名で編成する。 ・各学校所在地から広島までの航空代金及び公共交通機関移動費並びに指定宿泊所での宿泊費は、主催者が全額助成する。 ・参加校は、主催者の決めた日程により行動する。 ・参加校は、自校生徒及び相手校生徒等への努力・敬意・勝者への称賛等を大事にする心を持つよう、各種の行動場面での留意に努める。 ・本大会は、主催者が監督・コーチの立位及び座位でのベンチでの生徒への指示(選手交代を除く)の一切を禁止するので、各校の日々の練習もそのような指導に努めることを強く求める。 ・競技規則は、当該年の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則を準拠するが、各地区大会では参加校の特性及び障がいの特性等に応じて、参加校の共通理解の下、適切に運用する。 ・全国大会の競技コートは、基本として、横 18m 以上 × 縦 36m 以上で、2 面を設ける。 ・全国大会の競技時間は、予選 3 ブロックリーグ戦及び順位決定 4 ブロックリーグ順位決定リーグは 15 分ランニングタイム制で行い、1 位を決定する順位リーグ 3 試合は前後半 10 分ランニングタイム制で行う。 ・大会参加にあたって、各学校は旅行及びスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませる(日本スポーツ振興センター災害共済給付に加入している場合はこれに代わるものとする)。

公益財団法人日本ライオンズの大会基本コンセプト「自立と RESPECT」

○自立への願い

公益財団法人日本ライオンズは、特別支援学校の多くの生徒が、卒業後、実社会に出て就労することを踏まえて、生徒が自ら判断し、自立的行動が可能になるように、生徒の主体的判断を尊重する大会を目指しています。

このため、通常の競技会では許されている監督・コーチのベンチでの指示・命令を一切禁止しています。監督・コーチは、選手交代及び緊急時以外はベンチに座り、状況を見守り、生徒の自立的行動を肯定的かつ正確に把握して、穏やかな態度で、生徒が主体的な判断・決定・実行する力を高めるよう、温かな思いやりのある教師行動を期待しています。

○RESPECTへの願い

生徒は、卒業後、実社会に出た場合、RESPECT「他人への思いやりの心」「相手に敬意を表する心」があれば、大抵のことは円滑に進めることができます。この大会を通して、自校や他校の生徒同士、学校の先生、大会関係者、特にゲームでは審判等運営者への RESPECT を示す行動を全ての場面で示す大会を目指します。

このため、自校の生徒同士、引率の先生、対戦相手校の生徒、審判、大会関係者などには、相手を認めて、敬意を表する「こんにちは」や「お願いします」「ありがとうございます」などの具体的な礼儀や言葉遣いを行うことを期待しています。

第5回各地区大会参加校一覧

大会参加校数	地区大会参加校名
北海道 地区大会校 21校	1. 北海道平取養護学校（3回） 2. 北海道星置養護学校ほしみ学園（3回） 3. 北海道今金高等養護学校（5回） 4. 北海道中札内高等養護学校（5回） 5. 北海道札幌高等養護学校（5回） 6. 北海道釧路鶴野支援学校（4回） 7. 北海道千歳高等支援学校（5回） 8. 北海道白樺高等養護学校（5回） 9. 北海道中標津支援学校（3回） 10. 北海道高等聾学校（5回） 11. 北海道札幌あいの里高等支援学校（5回） 12. 北海道紋別高等養護学校（5回） 13. 北海道新篠津高等養護学校（5回） 14. 北海道伊達高等養護学校（5回） 15. 北海道小樽高等支援学校（5回） 16. 北海道中札内高等養護学校幕別分校（4回） 17. 北海道小平高等養護学校（3回） 18. 北海道函館高等支援学校（5回） 19. 北海道美深高等養護学校あいべつ校（1回） 20. 市立札幌みなみの杜高等支援学校（5回） 21. 市立札幌豊明高等支援学校（5回）

大会参加校数	地区大会参加校名
東北 地区大会校 10校	1. 青森県立八戸高等支援学校（3回） 2. 岩手県立盛岡峰南高等支援学校（4回） 3. 学校法人カナン学園三愛学舎（4回） 4. 学校法人三幸学園支援学校 仙台みらい高等学園（1回） 5. 宮城県立秋保かがやき支援学校（3回） 6. 宮城県立支援学校岩沼高等学園（3回） 7. 宮城県立支援学校女川高等学園（4回） 8. 秋田県立ゆり支援学校（5回） 9. 秋田県立栗田支援学校（5回） 10. 秋田県立支援学校天王みどり学園（3回）

大会参加校数	地区大会参加校名
東関東 地区大会校 15校	1. 栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園（4回） 2. 栃木県立南那須特別支援学校（3回） 3. 栃木県立国分寺特別支援学校（3回） 4. 栃木県立那須特別支援学校（3回） 5. 千葉県立特別支援学校市川大野高等学園（5回） 6. 千葉県立市原特別支援学校つるまい風の丘分校（5回） 7. 千葉県立特別支援学校流山高等学園（5回） 8. 千葉県立高等特別支援学校（2回） 9. 千葉県立香取特別支援学校（2回） 10. 茨城県立水戸高等特別支援学校（5回） 11. 茨城県立結城特別支援学校（4回） 12. 茨城県立土浦特別支援学校（4回） 13. 茨城県立鹿島特別支援学校（5回） 14. 茨城県立伊奈特別支援学校（2回） 15. 日立市立日立特別支援学校（5回）

大会参加校数	地区大会参加校名
西関東 地区大会校 16校	1. 東京都立南大沢学園（5回） 2. 東京都立羽村特別支援学校（5回） 3. 東京都立志村学園（5回） 4. 東京都立東久留米特別支援学校（4回） 5. 東京都立府中けやきの森学園（5回） 6. 東京都立八王子南特別支援学校（3回） 7. 東京都立永福学園（5回） 8. 東京都立青峰学園（5回） 9. 東京都立墨田特別支援学校（2回） 10. 東京都立中央ろう学校（2回） 11. 東京都立江東特別支援学校（2回） 12. 神奈川横浜市立日野中央高等特別支援学校（4回） 13. 神奈川県立横浜市二つ橋高等特別支援学校（1回） 14. 神奈川県立小田原支援学校知的教育障害部門高等部（1回） 15. 山梨県立高等支援学校桃花台学園（3回） 16. 山梨県立ふじさくら支援学校（3回）

大会参加校数	地区大会参加校名
北信越 地区大会校 12校	1. 新潟県立江南高等特別支援学校（4回） 2. 新潟県立江南高等特別支援学校川岸分校（4回） 3. 新潟県立五泉特別支援学校村松分校 4. 富山県立富山高等支援学校（5回） 5. 富山県立高岡高等支援学校（4回） 6. 富山県立にいかわ総合支援学校 7. 石川県立明和特別支援学校（5回） 8. 石川県立小松特別支援学校（5回） 9. 石川県立いしかわ特別支援学校（5回） 10. 福井県立嶺北特別支援学校 11. 福井県立南越特別支援学校 12. 福井県立奥越特別支援学校

大会参加校数	地区大会参加校名
東海 地区大会校 18校	1. 愛知県立名古屋聾学校（4回） 2. 愛知県立春日井高等特別支援学校（4回） 3. 岐阜県立可茂特別支援学校（3回） 4. 岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校（3回） 5. 岐阜県立西濃高等特別支援学校（4回） 6. 岐阜県立岐阜本巣特別支援学校（2回） 7. 岐阜県立大垣特別支援学校（3回） 8. 三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園（3回） 9. 三重県立くわな特別支援学校（（1回） 10. 三重県立稲葉特別支援学校（1回） 11. 静岡県立富士特別支援学校　富士宮分校（2回） 12. 静岡県立富士特別支援学校　富士東分校（1回） 13. 静岡県立沼津特別支援学校愛鷹分校（1回） 14. 静岡県立浜松特別支援学校（3回） 15. 静岡県立御殿場特別支援学校小山分校（初回） 16. 静岡県藤枝特別支援学校（1回） 17. 静岡県立藤枝特別支援学校焼津分校（3回） 18. 静岡県立清水特別支援学校（1回）

大会参加校数	地区大会参加校名
東関西 地区大会校 13校	1. 京都教育大学附属特別支援学校（4回） 2. 京都府立宇治支援学校（2回） 3. 京都府立中丹支援学校（4回） 4. 京都府立井手やまぶき支援学校（4回） 5. 京都府立城陽支援学校（5回） 6. 京都府立丹波支援学校（3回） 7. 京都府立東山総合支援学校（2回） 8. 京都府立舞鶴支援学校（5回） 9. 京都府立八幡支援学校（5回） 10. 京都府立与謝の海支援学校（1回） 11. 奈良県立高等養護学校（5回） 12. 奈良県立ろう学校（5回） 13. 滋賀県立甲南高等養護学校（1回）

大会参加校数	地区大会参加校名
西関西 地区大会校 15校	1. 大阪府立たまがわ高等支援学校（5回） 2. 大阪府立とりかい高等支援学校（4回） 3. 大阪府立なにわ高等支援学校（5回） 4. 大阪府立だいせん聴覚高等支援学校（2回） 5. 大阪府立難波支援学校（1回） 6. 大阪府立和泉支援学校（3回） 7. 大阪府立中央聴覚支援学校（1回） 8. 兵庫県立いなみ野特別支援学校（3回） 9. 兵庫県立赤穂特別支援学校（1回） 10. 兵庫県立阪神特別支援学校（2回） 11. 兵庫県立芦屋特別支援学校（2回） 12. 兵庫県立高等特別支援学校（5回） 13. 兵庫県立西神戸高等特別支援学校（4回） 14. 兵庫県阪神昆陽特別支援学校（1回） 15. 兵庫県立姫路特別支援学校（1回）

大会参加校数	地区大会参加校名
中国 地区大会校 10校	1. 鳥取大学附属特別支援学校　(2回) 2. 島根県立松江養護学校　(5回) 3. 島根県立益田養護学校　(5回) 4. 島根県立出雲養護学校（１回） 5. 岡山県立岡山瀬戸高等支援学校(3回) 6. 岡山県立岡山南支援学校（3回） 7. 広島県立黒瀬特別支援学校（4回） 8. 広島県立三原特別支援学校（１回） 9. 広島県立福山北特別支援学校（2回） 10. 山口県立宇部総合支援学校（4回）

大会参加校数	地区大会参加校名
四国 地区大会校 3校	1. 香川県立香川東部支援学校（5回） 2. 愛媛県立宇和特別支援学校（4回） 3. 香川大学教育学部付属特別支援学校（１回）

大会参加校数	地区大会参加校名
北九州 地区大会校 11校	1. 福岡県立特別支援学校「北九州高等学園」(2回) 2. 福岡県立特別支援学校「福岡高等学園」(4回) 3. 福岡県立糸島特別支援学校（2回） 4. 佐賀県立伊万里特別支援学校（2回） 5. 佐賀県立大和特別支援学校（2回） 6. 長崎県立虹の原特別支援学校（4回） 7. 長崎県立希望が丘高等特別支援学校（4回） 8. 長崎県立島原特別支援学校（4回） 9. 長崎県立佐世保特別支援学校（4回） 10. 熊本県立熊本はばたき高等支援学校（3回） 11. 熊本県立小国支援学校（１回）

大会参加校数	地区大会参加校名
南九州 地区大会校 15校	1. 大分県立大分支援学校（5回） 2. 大分県立別府やまなみ支援学校（１回） 3. 大分県立さくらの杜高等支援学校（4回） 4. 大分県立中津支援学校（2回） 5. 大分県立中央支援学校（１回） 6. 宮崎県立みなみのかぜ支援学校（3回） 7. 宮崎県立日向ひまわり支援学校（4回） 8. 鹿児島県立鹿児島高等特別支援学校（5回） 9. 鹿児島県立牧之原特別支援学校（4回） 10. 沖縄県立陽明高等支援学校（１回） 11. 沖縄県立名護特別支援学校（１回） 12. 沖縄県立沖縄高等特別支援学校（4回） 13. 沖縄県立中部農林高等支援学校（5回） 14. 沖縄県立南風原高等支援学校（１回） 15. 沖縄県立西崎特別支援学校（１回）

集計 Participation Summary

複　合	開催地区	参加校数				
		2022第1回大会	2023第2回大会	2024第3回大会	2025第4回大会	2026第5回大会
331	北海道	15	19	20	20	21
332	東北	3	7	11	9	10
333	東関東	7	10	12	17	15
330	西関東	7	8	11	15	16
334	北信越	4	7	8	10	12
	東海	6	11	15	17	18
335	東関西	13	22	10	10	13
	西関西			13	7	15
336	中国	6	9	4	3	10
	四国	3	4	3	11	3
337	北九州	6	14	5	9	11
	南九州			10	10	15
合　計		70	111	122	138	159



Lions Clubs International
FOUNDATION

公益財団法人 日本ライオンズ
〒104-0031　東京都中央区京橋2-7-8 R704
TEL：03-6262-6108